

イノベーション創出基礎的研究推進事業

【5, 994 (6, 800) 百万円】

事業のポイント

農林水産業・食品産業等におけるイノベーションにつながる革新的な技術シーズを開発するための基礎研究及び開発された技術シーズを実用化に向けて発展させるための研究開発を推進します。本事業は競争的研究資金制度です。

政策目標

技術シーズの開発及び開発された技術シーズの実用化に向けた発展

<内容>

1. 技術シーズ開発型

- 理工系を含む研究者の独創的アイデアや純粋基礎研究の成果を基に、農林水産業・食品産業分野における技術革新や新事業の創出など、将来のイノベーションにつながる技術シーズを開発するための基礎研究（目的基礎研究）を推進します。
- 技術シーズが将来にわたって継続的に生み出されるよう、若手研究者の研究を支援することにより次世代を担う研究者を育成します。

2. 発展型

- 技術シーズ開発型や他の研究資金制度を用いて開発された技術シーズを実用化に向けて発展させるための研究開発を推進します。
- 研究開発ベンチャーを対象とする枠を設定するとともに、課題採択後にフィージビリティスタディ（市場調査、ビジネスプラン作成、補完的研究等）の結果に基づいた選抜を行うことにより、質の高い研究開発ベンチャーを育成します。

(注)平成19年度以前に採択された「新技術・新分野創出のための基礎研究推進事業」、
「生物系産業創出のための異分野融合研究事業」の継続課題については、引き続き委託研究を実施します。

実施機関：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

[担当課：農林水産技術会議事務局研究推進課 03-3502-5530 (直通)]

イノベーション創出基礎的研究推進事業の概要

平成22年度予算額 60億円(68億円)

～ 農林水産・食品産業分野等におけるイノベーションの創出を目指し、目的基礎研究及び応用段階の研究開発を推進 ～

目的基礎研究及び応用段階の研究開発を1つの事業の下で一体的に推進

技術シーズ開発型

農林水産業・食品産業における技術革新や新産業の創出につながる技術シーズを開発するための基礎研究(目的基礎研究)を推進

研究期間:5年以内
研究費:7,000万円以内/年
国際共同研究を含む場合は8,000万円以内/年

若手研究者育成枠:39歳までの若手研究者が対象

研究期間:原則3年以内(2年以内の延長が可能)
研究費:3,000万円以内/年

発展型

技術シーズ開発型や他の研究資金制度を用いて開発された技術シーズを実用化に向けて発展させるための研究開発を推進

研究期間:3年以内
研究費:6,000万円以内/年
国際共同研究を含む場合は7,000万円以内/年

ベンチャー育成枠:成果を活用したベンチャービジネス立ち上げの計画を有する者が対象

フェーズⅠ:ベンチャービジネス立ち上げに向けた市場調査、ビジネスプランの作成等

研究期間:1年間
研究費:500万円以内/年

フェーズⅡ:研究開発の実施

研究期間:原則2年以内(1年間の延長が可能)
研究費:3,000万円以内/年

実現可能性の高い課題を選別

「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」、「民間実用化研究促進事業」等の研究開発資金制度を活用

(注)SBIR制度とは、特許料等の軽減、中小企業金融公庫の特別貸付、債務保証枠の拡大等の措置により、中小企業による研究開発成果の事業化を支援する制度

SBIR制度注の活用による事業化等を通じたイノベーションの創出

理工系を含む研究者の独創的なアイデア、基礎研究の成果等

目的基礎研究の例:

- ・機能性成分の探索
- ・生物機能に関与する遺伝子の探索

応用研究の例:

- ・機能性成分に関する生理機構の解明
- ・遺伝子発現機構の解明

実用化研究の例:

- ・機能性食品・飲料の開発
- ・遺伝子マーカーを活用した作物の育種